

# 町長の行政報告を お知らせします



八峰町12月議会定例会が20日から22日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

## 秋季消防総合訓練を実施 今年の火災発生件数は5件

秋の火災予防運動初日の11月6日午前6時から、滝の間地区において地域住民、消防団、八峰消防署のご協力のもと津波避難訓練と消防総合訓練を実施しました。

津波避難訓練では、大津波警報が発表されたと想定し、滝の間自治会が独自に決めている避難場所に避難するという訓練で、それぞれ所要時間などを確認しました。

消防総合訓練は、滝の間地区中央の県道「樫台・小入川線」を一時通行止めにして、住民による火事ぶれと119番通報、消火器による初期消火訓練に続き、消防団員、消防署員による放水訓練を行いました。

まだ薄暗く寒い中、約150人の方々から参加していただきました。ご協力くださった滝の間自治会を始め町民、消防団、消防署の皆様には心からお礼申し上げます。

今年は5件の火災が発生しており、これから暖房器具が毎日使用されるようになり、火災も心配される時期になりましたが、町民と一体となつて防火に努めます。

## 行政協力員会議 自治会からの要望は50件

秋の行政協力員会議を11月22日峰栄館で開催し、各自治会から出された道路改良などの要望50件について、それぞれ町の考え方を示し、意見交換を行いました。

また、春の行政協力員会議でも提案した住民税申告会場の統合案について再度意見交換し、今まで各地区で行っていた申告受付を、八森地区はフアガスで、峰浜地区は峰栄館で行うことにしました。

このほか、町からは小型除雪機械の貸出事業、災害時要援護者避難支援などを説明し理解を深めていただきました。



## バス乗車券類購入補助事業 予想を大きく上回る



10月から実施した「バス乗車券類等購入補助事業」における販売実績は、10月の回数券類が144枚、定期券が3枚で、11月も回数券類が64枚、定期券が21枚と、当初の予想を大きく上回る購入となっており、バスの乗客数が格段に増加し、利用者及び路線バス事業者双方から喜ばれています。

これまで、バス路線確保のため「生活バス路線等維持費補助金」を路線バス事業者に交付しており、今年度の補助交付額は778万9千円となっておりますが、来年度はバス乗車券等購入補助事業の効果で維持費補助金の軽減が図られるのではないかと期待しています。

## 12月議会定例会に 提出した主な議案

- 八峰町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町税条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 下水道等受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町簡易水道給水条例の一部を改正する条例制定について
- 町道路線の廃止及び認定について
- 平成23年度一般会計補正予算1億1,257万9千円を追加するもの

### 主な歳出

- 生活バス路線等維持費補助金、マイトウンバス維持費補助金、定住奨励金、障害者自立支援給付費、国保特別会計繰出金、ポンポコ山公園備品購入費、住宅リフォーム緊急支援事業補助金、災害復旧事業費、財政調整基金及び自然再生基金積立金など
- 各特別会計補正予算
- 八峰町沢目財産区管理委員の選任について

## 季節ハタハタ漁 例年より遅れる

県と県内4漁協で組織する「秋田県ハタハタ資源対策協議会」では、今期の漁獲枠を昨年より400トン多い2,800トンに、配分は例年どおり沿岸が6割の1,680トン、沖合が4割の1,120トンに決定しました。また今期は沿岸水温がやや高めに推移していることから、季節ハタハタの接岸は予想より遅れる可能性があるとしておりましたが、その予想が的中し、初水揚げは12月7日、八森漁港での約10キロと例年より大幅に遅れた初漁となりました。その後も不漁が続きましたが、12月13日ようやく本隊が接岸し、八森、岩館漁港周辺は一気に活気づきました。季節ハタハタ漁も終盤を迎えています。当町の産業に好影響を及ぼすような結果となるよう期待しています。

## J-VEERクレジット ジェシービーと秋田銀行が購入

今年6月に町で発行したJ-VEERクレジットを販売するため、企業等を訪問するなど販売活動を行い、クレジットカード大手の株式会社ジェシービーと10月27日に売買契約を締結することができました。販売数量は220トン、単価は1トン当たり2万1,250円で、販売額は467万5,000

## 教育ICT事業 全国に先駆けスタート

また、株式会社秋田銀行からも100トンの購入申込をいただき、単価は1トン当たり1万5000円、販売額105万円で、12月15日売買契約を締結しました。これらの販売収益は6月に設置した「八峰町自然再生基金」に積み立て、地球温暖化対策や自然再生につながる取り組みなどに活用します。



## 教育ICT事業 全国に先駆けスタート

ブロードバンド（高速大容量）通信によって多様になったICT（情報通信技術）の教育分野における利活用を探ろうと文部科学省の指導のもと、平成23年度から3年間小学5年生を対象として実施するものです。



この事業の対象となったのは全国5自治体の10校で、うち八峰町の3小学校が選考されています。この事業は東北地方太平洋沖地震等の影響により、実施が大幅に遅れ、八森小学校及び水沢小学校は2学期から、塙川小学校は12月から社会、理科そして算数の授業に活用が始まっています。5年生全員に配備されたタブレット型パソコンを利用して教科書にない映像や画像なども利用しながら行う授業は、即、子供たちが反応を示し、興味のあることに出会った時の目の輝きを知った感動の瞬間でもあったと学校関係者から報告をいただきました。子どもたちが教室に居ながらにして先端技術を駆使し、しかもリアルタイムで行う授業等は、将来、高度情報通信社会の中で生活を営む上で必ず役に立つものと強く感じています。